

【 4 款 衛生費 】

1 保健衛生費

少子化、核家族化に伴い、子育てに不安を持つ親への支援、乳幼児の健康診査への受診勧奨や指導を行った。

また、昨今の超高齢社会において、「自分の健康は、自分でつくるもの」を目標に、健康保持増進のための各種健(検)診、健康教育、感染症予防対策等の事業を行った。

(1) 保健衛生総務費

核家族化が進行し、身近に助言者がいないなど、育児不安をもつ親が増えている中、安心して笑顔で子育てができるまちづくりを目指し、育児について様々な相談ができる場を提供するとともに、異常の早期発見のための健康診査の実施、保健指導、医療への受診勧奨等の措置を講じた。

また、休日等における救急医療対策として、平戸市医師会へ委託し、在宅当番医制による初期救急医療体制の確保を行うとともに、休日・夜間等の重症救急患者の医療確保のため、3市1町(佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町)で構成する佐世保県北医療圏における病院群輪番制病院運営事業により、二次救急医療体制の確保を行った。

(2) 予防費

感染症の発生やまん延予防を目的に、市民への衛生思想の啓発活動、予防接種法に基づいた定期予防接種及び子どものインフルエンザの予防接種事業を実施した。

(3) 健康増進費

市民の健康寿命の延伸を目標として、健康増進法等に基づいた健康教育、健康相談、各種健(検)診、訪問指導等を実施した。

(4) 環境衛生費

不法投棄のパトロールを実施し、散乱ごみの回収を行い環境保全に努めた。花とみどりのふるさとづくり推進のため、フラワー街道やプランター植栽による緑化事業並びに公共施設等に花いっぱい運動用の花苗の配布を行った。また、松浦斎苑の利用に際し、田平地区住民に対し田平地区斎場利用支援事業により補助を行った。

また、自然エネルギーの利用を促進することで、地球温暖化防止及び新エネルギーの導入を推進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。

(5) 公害対策費

公害防止の観点から公共用水域の水質測定を行い水質汚濁防止の監視に努めた。また、騒音防止対策として、権限委譲に基づく主要道路の自動車騒音状況を面的に測定し、環境騒音の監視を行った。

(6) 飲料水供給施設管理費

高島地区における飲料水供給施設の維持管理を行い、安全な飲料水の安定供給を図った。

2 清掃費

(1) 清掃総務費

一般廃棄物の中間処理について、北松北部クリーンセンターにおいて適正な処理を行い、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。また、平戸市環境保全監視委員会を設置し、平戸市総合衛生センター最終処分場について適正な管理により、地域住民の安心と信頼を維持できた。

(2) 塵芥処理費

一般廃棄物処理計画に基づき、適正なごみ収集運搬を行うとともに、大島地区のごみ処理施設及び市内の最終処分場施設の維持管理に努めた。また、再資源物の回収に対する助成を行い廃棄物の減量化対策を実施した。廃棄物及び資源物の円滑な処理体制を図る為、生月・田平地区の旧ごみ焼却施設解体跡地に海岸漂着物等の一時保管を目的としてストックヤードを整備した。県の海岸漂着物対策基金を活用した海岸漂着物対策推進事業により海岸環境の保全を図った。

(3) し尿処理費

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全のため、浄化槽設置整備事業の推進を図り、個人住宅の改築に併せて浄化槽を設置する場合に限り市単独で20万円の上乗せ補助を実施することで普及促進に努めた。

田平地区コミュニティ・プラントによる汚水処理や大島地区のし尿処理について、適正な処理の実施により、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。

事業名	事業内容	事業費
妊産婦健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	<p>妊娠中からの健康管理を目的として、すべての妊婦を対象に妊婦健康診査費用の一部を助成した。</p> <p>また、聴覚異常を早期に発見することを目的として、新生児聴覚検査費用の一部を助成した。</p> <p>母子健康手帳交付数 : 211 冊 妊婦健康診査受診者数 : 延べ 2,561 人 新生児聴覚検査受診者数 : 180 人(受診率 81.4%)</p>	19,922
子育て支援事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	<p>①こんには赤ちゃん事業 生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、妊産婦の健康管理と育児不安の軽減、新生児の成長発達確認、家庭内の育児環境や協力体制等について指導、助言を実施 対象者数：218 人、訪問数：214 人</p> <p>②養育医療(未熟児訪問指導)事業 未熟児に対し、訪問指導を実施 訪問件数(実)：4 件、(延べ)：4 件</p> <p>③養育支援家庭訪問事業 「こんには赤ちゃん事業」後に、継続的な支援が必要な家庭を対象に実施 訪問件数(実)：18 件、(延べ)：22 件</p> <p>④母子保健推進員研修会 母子保健推進員(22 名)を対象に、研修会を開催 実施回数：2 回、参加者延べ数：31 人</p> <p>⑤お遊び教室 心身の発達が境界域の子どもやその親を集めて、専門家からの発達促進に関する指導や育児相談を実施 実施回数：9 回、参加者延べ数：22 人</p> <p>⑥児童虐待ゼロプロジェクト事業 妊娠中からの精神的安定を図る目的で医療機関において、妊産婦にアンケート調査を行い、支援が必要な対象者については訪問活動を実施 医療機関からの情報提供数：92 件 うち訪問が必要と連絡のあった人数：10 件 うち訪問者数：10 件</p> <p>⑦乳児健診 障害等の早期発見、適切な援助、成長発達の評価、育児支援を実施 実施回数：30 回、対象者数：332 人 受診児延べ数：527 人(受診率：96.4%)</p> <p>⑧母子健康相談 乳幼児の発育や発達・子育ての悩みや不安などについて育児相談を実施 実施回数：30 回 参加者延べ数：305 人</p>	3,694

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	17,000		2,922	<p>妊婦健康診査の費用を助成したことにより、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊娠週数に応じた健康管理ができた。</p> <p>また、新生児の聴覚検査費用を助成することで、受診の促進につながり、異常の早期発見に寄与した。</p>
514			3,180	<p>①生まれた全ての乳児の家庭を対象に訪問することで、産婦及び乳児の健康管理に関する助言や育児に対する不安軽減等につながった。</p> <p>②特に、未熟児で生まれた場合は、退院後のケアに配慮を要することが多いことを念頭におき、個人に応じた訪問支援ができた。</p> <p>③「こんには赤ちゃん事業」の後、成長の経過を見守る必要がある場合や育児不安が強い場合等、継続した支援をすることにより、育児に対する不安軽減等につながった。</p> <p>④母子保健推進員に対し、必要な知識と技能の修得をねらいとした研修会を開催することで、母子を支え、行政とのつなぎ役とした活動展開に寄与した。</p> <p>⑤教室を継続開催することで、保護者が育児に応用できるように専門家から直接助言を受けられる場を提供し、保護者の不安解消ができた。</p> <p>⑥妊娠初期の時点からの医療機関と行政の連携の下、妊産婦に対し見守りや必要に応じ訪問による支援等を行い、児童虐待の未然防止に努め、子育て不安の軽減を図り母親の精神的安定に寄与した。</p> <p>⑦乳児の異常の早期発見及び早期治療や、安心できる子育てにつながった。</p> <p>⑧相談場面では、子育てについての助言等支援ができ、乳幼児期の健康管理に寄与した。</p>

事業名	事業内容	事業費
幼児健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書176頁】 【事項別明細書178頁】	健康・発達の評価、障害・疾病等の早期発見などの個々に応じた指導助言を行った。 1歳6か月児健康診査 実施回数：16回 対象者数：245人 受診者数：240人(受診率：97.9%) 3歳児健康診査 実施回数：19回 対象者数：262人 受診者数：258人(受診率：98.5%) フッ素塗布事業 むし歯予防のため、1歳6か月児から3歳6か月児までに対し、フッ素塗布を実施 対象者 1,220人 塗布者 609人(塗布率49.9%) 5歳児発達健診 モデル事業として、5か所の保育所において5歳児(年中児)発達健診を実施 受診者 72人	1,712
地域医療人材育成事業 (保健センター) 【事項別明細書178頁】	平戸市民病院を教育の拠点とし、長崎大学に委託して地域医療に貢献できる医師の養成を行った。また、市民を対象とした地域医療に関する講演会の開催及びへき地医療体験合宿等を通じて、過疎・へき地の医療を担う人材を育成した。 研修医受入数：38人	19,477
妊婦相談事業 (保健センター) 【事項別明細書178頁】	安心して子どもを産み・育てる環境を整えるために妊婦の相談、妊産婦同士の交流の場として平戸市内助産師有志の会“平戸さんぽの会”へ委託し“Sun・MaMaひろば”を開催した。 Sun・MaMaひろばの開催 回数：13回 参加者：妊産婦27人、配偶者9人	183

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		85	1,627	健康診査は、受診率100%を目指して受診勧奨を実施しており、高い受診率を維持することができ、幼児の健康管理に寄与した。 また、幼児期における口腔環境は、成長発達に影響を与える一因であり、むし歯予防は重要であることから、歯の生え始める時期からむし歯予防の実践を啓発しているが、特に1歳6か月児健診以降にむし歯が増えていくため、この時期からフッ素を塗布することでむし歯の予防が可能となった。 5歳児発達健診については、新規に専門相談へ紹介した児がおり、早期の発見につながった。
1,000	10,000		8,477	長崎大学への委託により、地域医療の人材育成を図るとともに、医師不足で悩む平戸市民病院における医師を確保できた。 また、平成25年度は、この事業の拡大版として、市立病院をはじめとする平戸・松浦両市の5病院の協力により、「長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構」による「ながさき県北地域医療教育コンソーシアム」が開設され、医師不足に苦慮する両市の医療現場にとって今後の貢献が期待される。
			183	妊婦を対象とした助産師による相談の場、妊産婦同士の交流の場として“Sun・MaMaひろば”を開催したことにより、妊産婦の不安が軽減された。

事業名	事業内容	事業費																								
予防接種事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	<p>予防接種法で定められた定期予防接種について、複数回にわたる個人通知を行うなど接種率向上に努め、前年度で終了できなかった接種者には、引き続き接種勧奨の働きかけを行った。</p> <p>他に、生後6か月から就学前までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種費用を助成した。</p> <p>また、平成25年度は子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが新たに定期の予防接種に加わった。</p> <p>予防接種者延べ数(接種率)</p> <table border="1"> <tr><td>不活化ポリオ(急性灰白髄炎)</td><td>248人(26.8%)</td></tr> <tr><td>三種混合</td><td>263人(28.7%)</td></tr> <tr><td>四種混合</td><td>724人(78.4%)</td></tr> <tr><td>インフルエンザ(高齢者)</td><td>6,919人(57.4%)</td></tr> <tr><td>インフルエンザ(子ども)</td><td>1,437人(49.2%)</td></tr> <tr><td>ジフテリア・破傷風混合</td><td>287人(95.7%)</td></tr> <tr><td>B C G</td><td>175人(76.1%)</td></tr> <tr><td>麻しん風しん混合</td><td>446人(94.3%)</td></tr> <tr><td>日本脳炎</td><td>985人 ※1</td></tr> <tr><td>子宮頸がん</td><td>29人(6.5%)</td></tr> <tr><td>ヒブ</td><td>967人(109.0%) ※2</td></tr> <tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>916人(103.3%) ※2</td></tr> </table> <p>※1 日本脳炎については、平成23年度から特例措置が行われ、接種対象者の範囲が拡大されているため、接種率は計上していない。</p> <p>※2 接種率は、厚生労働省が示した算定方法に統一している。対象者数は「各年度に新しく予防接種対象者に該当した人数」であることに対し、接種者数は「各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人数」であるため、接種率が100%を超える場合がある。</p>	不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	248人(26.8%)	三種混合	263人(28.7%)	四種混合	724人(78.4%)	インフルエンザ(高齢者)	6,919人(57.4%)	インフルエンザ(子ども)	1,437人(49.2%)	ジフテリア・破傷風混合	287人(95.7%)	B C G	175人(76.1%)	麻しん風しん混合	446人(94.3%)	日本脳炎	985人 ※1	子宮頸がん	29人(6.5%)	ヒブ	967人(109.0%) ※2	小児用肺炎球菌	916人(103.3%) ※2	60,144
不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	248人(26.8%)																									
三種混合	263人(28.7%)																									
四種混合	724人(78.4%)																									
インフルエンザ(高齢者)	6,919人(57.4%)																									
インフルエンザ(子ども)	1,437人(49.2%)																									
ジフテリア・破傷風混合	287人(95.7%)																									
B C G	175人(76.1%)																									
麻しん風しん混合	446人(94.3%)																									
日本脳炎	985人 ※1																									
子宮頸がん	29人(6.5%)																									
ヒブ	967人(109.0%) ※2																									
小児用肺炎球菌	916人(103.3%) ※2																									
健康教育事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	<p>健康づくりの中でも、生活習慣病予防に重点を置き、市民1人ひとりが自分自身の生活習慣を見直す機会として、個人や各種団体などに対し、集団健康教育を行い健診受診率向上に努めた。</p> <p>実施回数：94回 参加者延べ数：2,084人</p>	761																								
健康相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	<p>健康教育実施時や健診時等に併せて、健康相談を実施した。</p> <p>実施回数：138回 参加者延べ数：5,452人</p>	272																								

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			60,144	<p>各種予防接種により、感染症などの発生及び重症化、まん延予防に寄与した。</p> <p>子宮頸がん予防ワクチンについては、国において、接種後の副反応に関する調査が行われており、平成25年6月から積極的な接種勧奨を差し控えているため、接種者数が少なかった。</p>
504			257	<p>糖尿病、高脂血症、高血圧を原因とした心疾患、脳血管疾患について住民に情報提供することで、生活習慣病予防についての認識を深めることができ、健診受診や生活習慣改善につながった。</p>
170			102	<p>生活習慣改善に結びつくような心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に寄与することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費																								
健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】 【事項別明細書 182 頁】	健康増進法により肝炎ウィルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診等を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎ウィルス</td> <td>178</td> <td>—</td> <td>153</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>骨粗鬆症</td> <td>184</td> <td>10.7</td> <td>170</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患</td> <td>44</td> <td>1.3</td> <td>58</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table>	種類	平成24年度		平成25年度		受診者数(人)	受診率(%)	受診者数(人)	受診率(%)	肝炎ウィルス	178	—	153	—	骨粗鬆症	184	10.7	170	9.9	歯周疾患	44	1.3	58	1.7	1,598
種類	平成24年度		平成25年度																							
	受診者数(人)	受診率(%)	受診者数(人)	受診率(%)																						
肝炎ウィルス	178	—	153	—																						
骨粗鬆症	184	10.7	170	9.9																						
歯周疾患	44	1.3	58	1.7																						
訪問指導事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	特定健診・がん健診の要精密者等に訪問し、指導及び助言を行った。 訪問者延べ数：50 人	52																								
後期高齢者健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>793</td> <td>835</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>11.5</td> <td>11.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度	平成25年度	受診者数(人)	793	835	受診率(%)	11.5	11.4	6,399															
区分	平成24年度	平成25年度																								
受診者数(人)	793	835																								
受診率(%)	11.5	11.4																								
食育推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	市民1人ひとりが、命の源である「食」について認識を高め、生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るため、減塩減糖などによる生活習慣病予防・地産地消の促進・郷土料理の伝承・食への感謝の念を育てる「食育」を家庭や学校・保育所・生産者等の「食」に関わる多様な関係者が地域において一層の連携を深めながら、市民運動として推進した。 また、平成25年度は、食に対する意識の向上を図り、更なる食育推進を目的として、食育料理コンテストを開催した。 食育料理コンテスト 1回開催 応募作品数 513 作品 (応募人数：591人) 食育推進会議 2回開催 参加延べ数：51人 食育推進リーダー学習会 28回開催 参加延べ数：365人 地域普及活動 78回実施 参加延べ数：2,991人 食育ワークショップ 9回実施 参加数：250人	961																								

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
743			855	各種健(検)診を実施することで、疾病予防及び重症化を防ぐことができた。
34			18	生活習慣改善の支援のため戸別訪問を行い、生活習慣病の発症及び重症化予防を図ることができた。また、がん検診要精密者に対し個別訪問を行うことで、早期受診につなげることができた。
		6,392	7	後期高齢者医療の被保険者に対するの健診を実施することで、疾病予防・重症化予防に寄与することができた。
479			482	教育・農林水産・保健衛生・地域関係者等の「食育」に関わる分野の連携が図られ、「食育」が推進された。また、食育料理コンテストでは、小中高生が、平戸食材について家族で話し合い、自分で考え実践したことで効果的な食育の推進となった。

事業名	事業内容	事業費
がん検診事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	がん対策基本法により、大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を行った。また、特定健診受診者を対象に前立腺がん検診を実施するとともに、胃がん検診の検査方法に加えて、節目年齢の人を対象に胃がんリスク検診を実施した。	24,218
がん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	子宮がん、乳がん、大腸がん検診について、一定の節目年齢の人へ検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付し、受診の促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を行った。 対象年齢 子宮がん 21・26・31・36・41 歳 乳がん・大腸がん 41・46・51・56・61 歳	2,852
太陽光発電システム設置促進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 184 頁】	自然エネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。 助成件数 50 件 助成単価 60,000 円/件	3,000
田平地区斎場利用支援事業 (市民課) 【事項別明細書 186 頁】	平成 24 年度末をもって松浦地区火葬場組合が解散したことにより、田平地区住民が松浦斎苑を利用する際に市外料金となり負担増になることから、利用料金の一部補助を行った。 平成 25 年度補助申請 91 件	4,494
海岸漂着物地域対策推進事業 (市民課) 【事項別明細書 192 頁】	漁業被害や海岸の景観を損ねている外国等からの漂着ごみ等を適正に処理し、海岸景観の保全を図った。 回収ポリ容器 277 個 クリーンセンター搬入量 60,090kg 処理困難物(発泡スチロール等) 264 m ³	10,041

財 源 内 訳				事業の成果																																																																		
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																			
1,820			22,398	<p>各種がん検診における受診率向上を目指し、受診しやすい検診体制づくりに努め、がんの早期発見、早期治療に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 類</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大腸がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>2,188</td> <td>2,264</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>199</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>14.4</td> <td>15.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>1,574</td> <td>1,635</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>10.3</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(うち胃がんリスク)</td> <td>受診者数(人)</td> <td>(98)</td> <td>(67)</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>(2.5)</td> <td>(1.7)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肺がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>2,557</td> <td>2,693</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>16.8</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乳がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>718</td> <td>863</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>146</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>21.1</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子宮がん</td> <td>受診者数(人)</td> <td>602</td> <td>751</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>58</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">前立腺がん</td> <td>受診率(%)</td> <td>17.5</td> <td>14.2</td> </tr> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>434</td> <td>442</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>受診率(%)</td> <td>6.0</td> <td>6.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 前立腺がん検診は、特定健診及び健康診査対象者を実施 ※ 大腸がん、乳がん及び子宮がん検診は、がん検診推進事業での受診者を含む。</p>	種 類		24年度	25年度	大腸がん	受診者数(人)	2,188	2,264	うちクーポン	199	190	受診率(%)	14.4	15.1	胃がん	受診者数(人)	1,574	1,635	受診率(%)	10.3	10.9	(うち胃がんリスク)	受診者数(人)	(98)	(67)	受診率(%)	(2.5)	(1.7)	肺がん	受診者数(人)	2,557	2,693	受診率(%)	16.8	17.9	乳がん	受診者数(人)	718	863	うちクーポン	146	181	受診率(%)	21.1	17.5	子宮がん	受診者数(人)	602	751	うちクーポン	58	71	前立腺がん	受診率(%)	17.5	14.2	受診者数(人)	434	442					受診率(%)	6.0	6.2
種 類		24年度	25年度																																																																			
大腸がん	受診者数(人)	2,188	2,264																																																																			
	うちクーポン	199	190																																																																			
	受診率(%)	14.4	15.1																																																																			
胃がん	受診者数(人)	1,574	1,635																																																																			
	受診率(%)	10.3	10.9																																																																			
(うち胃がんリスク)	受診者数(人)	(98)	(67)																																																																			
	受診率(%)	(2.5)	(1.7)																																																																			
肺がん	受診者数(人)	2,557	2,693																																																																			
	受診率(%)	16.8	17.9																																																																			
乳がん	受診者数(人)	718	863																																																																			
	うちクーポン	146	181																																																																			
	受診率(%)	21.1	17.5																																																																			
子宮がん	受診者数(人)	602	751																																																																			
	うちクーポン	58	71																																																																			
前立腺がん	受診率(%)	17.5	14.2																																																																			
	受診者数(人)	434	442																																																																			
				受診率(%)	6.0	6.2																																																																
			1,653																																																																			
			3,000	地球温暖化、自然エネルギーへの関心が深まる中、家庭の省エネ対策としての太陽光発電システム設置の普及促進を図るとともに、設置に係る費用負担を軽減することで、電力消費量の軽減が図られ、低炭素社会の推進に寄与することができた。																																																																		
			4,494	田平地区住民が松浦斎苑を利用する際に、従来と変わらない料金で施設利用ができるため、利用者の負担軽減に寄与した。																																																																		
10,000			41	漂流漂着ごみを回収し、適正処分することにより、海岸景観の保全に寄与した。																																																																		

事業名	事業内容	事業費																																				
ごみ減量化推進事業 (市民課) 【事項別明細書192頁】 【事項別明細書194頁】	各種団体による資源物の集団回収に対し交付金を交付し、ごみの減量化を図った。 再資源化推進登録団体数 223団体 再資源化推進交付金 平成25年度 古紙類 729,554kg リターナブルビン 162,817本 平成24年度 古紙類 717,934kg リターナブルビン 173,205本	5,939																																				
ストックヤード整備事業 (市民課) 【事項別明細書194頁】	生月・田平地区の旧ごみ焼却施設解体工事の跡地に、循環型社会形成推進施設としてストックヤード施設を整備した。 生月ストックヤード建築工事 鉄骨造 2階建 建築面積 327.68㎡ 延床面積 360.08㎡ 田平ストックヤード建築工事 木造 平屋建 建築面積 79.49㎡ 延床面積 79.49㎡	72,427																																				
浄化槽設置整備事業 (市民課) 【事項別明細書196頁】	生活雑排水の適正な処理を目的に、浄化槽設置者への補助を実施した。 <table border="1" data-bbox="273 933 770 1259"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>本土</th> <th>離島</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>50</td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>57</td> <td>1</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>5</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>11～20人槽</td> <td>6</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>21～30人槽</td> <td>4</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>31～50人槽</td> <td>3</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>125</td> <td>1</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>市単独補助</td> <td>54</td> <td>0</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	種類	本土	離島	計	5人槽	50		50	6～7人槽	57	1	58	8～10人槽	5		5	11～20人槽	6		6	21～30人槽	4		4	31～50人槽	3		3	計	125	1	126	市単独補助	54	0	54	66,359
種類	本土	離島	計																																			
5人槽	50		50																																			
6～7人槽	57	1	58																																			
8～10人槽	5		5																																			
11～20人槽	6		6																																			
21～30人槽	4		4																																			
31～50人槽	3		3																																			
計	125	1	126																																			
市単独補助	54	0	54																																			

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			5,939	各団体における再資源化物の回収の推進を図り、市民の分別リサイクル意識の啓発に伴うごみの減量化につながった。
24,510	45,100		2,817	ストックヤード施設整備により、漂着ごみ等の円滑な処理体制が構築された。
37,011			29,348	浄化槽設置により、水質汚濁の主因とされる生活雑排水の浄化を図り、公共用水域の環境保全に貢献した。